

1 PLAN(目的・概要)

その他経常業務

政策名	物流・産業		責任者	港営部 港湾管理事務所長
施策名	産業の高度化・新展開・創出と広域物流拠点の形成		連絡先	052-398-0503
事務事業名	臨港道路の維持管理		連携課	事業推進課、工事課、港湾工事事務所
目的	対象(誰・何を)	臨港道路	事業 期間	昭和26年度～継続
	意図(どうい う状態にしたいか)	通行車両の安全かつ快適な走行を確保します。		
概要	臨港道路を巡視することにより、損傷した箇所があれば速やかに応急処置を行います。		根拠 法令等	
活動内容	臨港道路の巡視、障害物の除去、損傷箇所の補修を行います。		実施義務	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
			関連 シート	

2 DO(実施)

コスト	単位	25年度	26年度	27年度	平均	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円	10,681	20,884	19,765	17,110	平成27年度の事業費減少については、橋面融雪・除雪の降雪量減少により、委託契約の支払金額が低いことによるものです。
人件費	千円	14,660	15,575	16,337	15,524	
合計	千円	25,341	36,459	36,102	32,634	

3 CHECK(検証)

指標名		25年度	26年度	27年度	中間目標 30	指標の説明・目標値の考え方	外部要因
道路損傷等に起因する事故件数(件) (単年度管理型)	目標	-	0	0	0	道路を管理する立場として、道路損傷等に起因する事故件数を0件にすることは重要な責務と考えます。	
	実績	0	0	0			
	事業進捗状況(27年度)		目標値を上回る 目標値をやや下回る		目標値どおり 目標値を下回る		
補修箇所(箇所) (単年度管理型)	目標	-	-	-	-		
	実績	223	289	326			
	事業進捗状況(27年度)				-		
目標の達成度に対する評価 (外部要因等を踏まえた)	管理瑕疵に起因する事故件数は、0件であり、良好に道路が維持されていると評価します。						
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明					
必要性	本組合が関与し、どうしてもやらなければならぬ事業か?	○ 陸上輸送では臨港道路を100%利用します。臨港道路の管理は本組合に課せられた責務であり、利用者の安全を確保する必要があります。					
	事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか?	○ 物流活動において臨港道路を良好に保つことは重要であり、利用者ニーズに適しています。					
有効性	事務事業は、施策達成に貢献するか?	○ 臨港道路の良好な状態は港湾の物流機能の維持に貢献しています。					
	期待どおりの成果が得られているか?	○ 道路管理瑕疵に起因する事故件数は、近年0件であり、期待どおりの成果が得られています。					
効率性	最小のコストとなっているか?	○ 本組合は道路管理者として通行の安全を確保する責務があるため、臨港道路を巡視することにより損傷箇所を早期に発見し、応急的補修等を必要最低限のコストにより、良好な状態の臨港道路をユーザーに提供しています。					

4 ACTION(取組)

課題	28年度以降の取組
臨港道路を良好に維持することにより、通行車両の安全かつ快適な走行を確保していくことが課題です。	事故防止などの安全対策を維持して行っています。